大盛りワックス虫ボトル

魚住直子作　講談社

おれは昔から存在感が薄い。六年間同じ小学校だったやつから「どこ小出身？」って言われてしまった。イラッとした気分が抜けずにいると、豆のような頭と糸のような手足の謎の生物が現れ、「ひとを１０００回、笑わせろよーん。おまえの誕生日までにだよーん」と命令してきた。

笑いのカウントを上げるため、ラーメンが大好きな太めの三輪、鏡が友達の日比野と、お笑いトリオを結成する公平。それぞれの理由を胸に文化祭のステージに挑むのだが…。

中二男子の奮闘が楽しい一冊。